

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	公衆栄養学Ⅰ						授業形態		講義	
科目コード	305000	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 多恵子								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、豊かな食生活や望ましい食生活を送るために必要な関心や意欲を高め、地域住民の健康の保持増進のための栄養指導等に必要な知識や思考を学び、社会から求められる管理栄養士となるために以下の事柄を学習する。 公衆栄養活動の歴史を基礎とし、管理栄養士制度を理解し、我が国の栄養施策としての国民健康栄養・調査の方法及びその結果や食生活指針、運動指針、睡眠指針などの指針、健康日本21の第一次～第三次の変遷（現状値、目標値、改善が見られた項目の詳細等）、食事バランスガイド等について学ぶ。また、栄養疫学について概要を学んだうえで、その指標や方法について理解し、食事調査法や食事摂取量測定方法の知識を修得する。 また、実務経験担当教員として県庁・保健所・市町村の中で、管理栄養士がどのような業務を行っているかの事例を提示する。									
関連する科目	履修前に、「公衆衛生学」を、同時期に、「健康管理概論」を受講しておくことが望ましい。 履修後は、「公衆栄養学Ⅱ」「公衆栄養学実習」「保健医療福祉システム論」を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	講義のレジメを配布し、予習状況のチェック、確認小テストを授業内容毎に行う。 上記の一部として、発表や話し合い等も行う。 課題の提出、小テスト等の一部は、ユニバのクラスプロファイル上で行います。									
授業計画 【第1回】	公衆栄養の概念、公衆栄養活動の歴史 ：公衆衛生からのつながりを理解する									
授業計画 【第2回】	健康・栄養問題の現状と課題1（日本人の食事摂取基準等）									
授業計画 【第3回】	健康・栄養問題の現状と課題2（食事、食生活、食環境、食料需給表）									
授業計画 【第4回】	健康・栄養問題の現状と課題3（諸外国、国際機関）									
授業計画 【第5回】	我が国の栄養施策1（地域保健法、健康増進法）									
授業計画 【第6回】	我が国の栄養施策2（管理栄養士・栄養士制度）									
授業計画 【第7回】	我が国の栄養施策3（国民健康・栄養調査）									
授業計画 【第8回】	我が国の栄養施策4（食育基本法、食育推進基本計画）									
授業計画 【第9回】	我が国の栄養施策5（食生活指針、食事バランスガイド）									
授業計画 【第10回】	我が国の栄養施策6（身体活動指針、休養指針、睡眠指針）									

授業計画 【第11回】	我が国の栄養施策 7（健康日本21）
授業計画 【第12回】	我が国の栄養施策 8（特定健康診査・特定保健指導）
授業計画 【第13回】	栄養疫学 1（疫学の概要、指標）
授業計画 【第14回】	栄養疫学 2（栄養疫学の方法）
授業計画 【第15回】	栄養疫学 3（食事調査方法）
授業の到達目標	① 我が国の栄養施策および栄養疫学に関する知識を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】 ・ 栄養施策を学ぶことにより豊かな食生活や望ましい食生活を送るために必要な関心や意欲を高める。 ② 身に付けた知識を元に自分自身の思考を整理し、それを表現する力を身に付ける。【問題解決力・問題発見力の獲得】【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】 ・ 栄養疫学を学ぶことに地域住民の健康の保持増進のための栄養指導等に必要な知識や思考を身に付ける。 ・ 社会から求められる管理栄養士像について具体的にイメージできるようになる
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	配布レジメを熟読し、ノートに整理するなどして、次回の講義内容を把握しておく（約 1 時間）
授業時間外学習【復習】	授業後のレジメと小テスト実施後は、復習をしておく（約 1 時間）
課題に対する フィードバック	小テスト・定期試験は評価をし、解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 定期試験70点 2) 小テスト20点
テキスト	・ 公衆栄養学（南江堂）第9版 ・ テーマに応じたレジメ（教員より配布）
参考書	・ 日本人の食事摂取基準 等
備考	